

回覧

元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

県営CR 宝くじ助成申請へ 器材調達

ゲンコミは来年3月完成予定の県営コミュニティルーム(CR)の不足備品・器材の確保に向け、一般財団自治総合センターのコミュニティ助成(宝くじ助成)事業への申請準備に入った。最近時点では、百合が丘自治会が老人憩いの家の増改築に際して同助成を活用し、椅子・机、カーテン類の購入に充てている。神奈川県は基本的な設備、備品は設置するものの、カーテン、講座用器材など活動に不可欠なものも自力調達を求めており、これらを対象に申請する。

宝くじ資金をもとにしたコミュニティ助成は広範に活用され、R5年度の全国実績は1,870件、約40億円に達する。二宮町や中井町は1件にとどまるものの、近隣の大井町では3件もの助成を受けている。申請手続きは市町村→県を通じて行い、一件当たりの助成額は100万円-250万円。

「健康団地」の位置づけで新設中の二宮団地は、今年度末の完成がほぼ確定。集会場、コミュニティ広場の運営はゲンコミが担うことが内定している。ゲンコミでは健康・福祉、音楽、生涯学習を3本柱にした活動を計画し、そのための必要備品、器材の確保に取り組んでいる。これらの品目の見積りや申請の趣旨書類などを揃え、なるだけ早く二宮町を通じた手続きに入りたい考えた。



澤田美喜・大磯講座 60人超の参加者

22日(土)、一般社団海鈴大磯との共催の「沢田美喜女史のひととなり、仕事」講座が大盛況に終わった(写真)。参加者は約60人。武井久江さん(語り部の会・あこ代表)の講座は沢田美喜記念館内の教会で行われ、終了後は武井さんの説明付きで記念館の展示を見学。講座と展示見学をセットにした企画は皆さんによるこんでもらえた。

今回の講座の特徴は二宮、大磯両町内で参加者を募り、会場も主題に関わる施設を借用したこと。参加者には記念館に入るのは初めてという方も多く、講座+見学という組み合わせが関心を集めた。ポスター掲示の当初から問い合わせも多く、会場は満席になった。主催した両団体は今回の成果を生かし、引き続き両町にまたがる講座を検討する。

国交省の採択決まる R5年度空き家対策

6月に空き家対策部会(廣上正市部会長)が申請した国交省の空き家対策モデル事業の採択が決まった。このほど決定通知が届いたもので、申請内容の一部を手直したうえで正式決定になる。

応募事業の正式名称は、クリエイティブ・マッチング・コミュニティ事業を活用した空き家・地域再生。同省の空き家対策事業の採択は6年連続。補助金の交付予定上限額は2,094千円。当協議会の空き家対策はこの数年、お試し移住に力点を置き、移住希望者からの事業提案、マッチング懇談会開催、大磯町への対象拡大など事業レベルを引き上げて来ている。これらの点が評価されたと見ている。